古文「なり」の識別 100題ドリル｜無料PDFと解答付き　問題編

組　　番　　氏名

【共通の設問】「なり」を識別せよ。（答え・解説は解答編）

【第1部】基礎編

Q1.

これは花**なり**。

Q2.

男ありけ**り**。「我が君なり」と申すなり。

Q3.

静か**なり**。

Q4.

鐘の音、響く**なり**。

Q5.

春**なり**。

Q6.

あはれ**なり**。

Q7.

鳥の鳴く**なり**。

Q8.

我れ古典を学ぶ者**なり**。

Q9.

物音、聞こゆ**なり**。

Q10.

風**なり**けり。

Q11.

月清き夜**なり**。

Q12.

よろづ**なり**。

Q13.

海面、なほ平らか**なり**。

Q14.

我れも歌詠む**なり**。

Q15.

鶯さへづる**なり**。

Q16.

我れ古典の人**なり**。

Q17.

都人、京を発つ**なり**。

Q18.

風吹く**なり**けり。

Q19.

名にし負ふ都鳥**なり**。

Q20.

春に**なり**ぬ。

【第2部】標準編

Q21.

いと尊き人**なり**。

Q22.

物言ふ**なり**。

Q23.

都に出で給ふ**なり**。

Q24.

風静か**なり**。

Q25.

心ある人に**こそ**あり**けれ**。

Q26.

春雨降る**なり**。

Q27.

古典の才ある人**なり**ければ、皆敬す。

Q28.

月かたぶく**なり**。

Q29.

我れ古典塾の主**なり**。

Q30.

嵐の音、いまだ止まず**なり**。

Q31.

あらた**なり**。

Q32.

月の出づる**なり**。

Q33.

雨の音聞こゆ**なり**けり。

Q34.

我れ古典塾の弟子**なり**けり。

Q35.

海辺に住む人**なり**。

Q36.

風吹く音**なり**。

Q37.

心知る人**なり**けり。

Q38.

物言ふ**なり**けり。

Q39.

あはれなる御方**なり**。

Q40.

春の風吹く**なり**。

Q41.

古典の道、なほ難**きなり**。

Q42.

物のあはれ知る人**なり**。

Q43.

心**なり**けり。

Q44.

海なる船、いま帰る**なり**。

Q45.

古典の文、深**きなり**。

Q46.

心ある人**なり**しが、いま見えず。

Q47.

春の野、若菜摘む**なり**。

Q48.

大臣**なり**けり。

Q49.

名にし負ふ都鳥**にて**ある**なり**。

Q50.

仏前に祈り給ふ**なり**けり。

【第3部】応用編

Q51.

いみじき宿世の人**なり**けり。

Q52.

風の音、いまだ激し**きなり**。

Q53.

月明らか**なり**けり。

Q54.

古典の道、難き**なり**。

Q55.

春来る**なり**。

Q56.

心ある人にて、いとあはれ**なり**ける。

Q57.

仏に祈り給ふ**ぞ**あらまほし**き**。

Q58.

我れ古典塾の主**にて**あ**るなり**。

Q59.

月の都の人**なり**けり。

Q60.

雨止みつ**なり**。

Q61.

心ありし人**なり**。

Q62.

春の野に若菜摘む**なり**けり。

Q63.

静か**なり**ける夜。

Q64.

都の中、いと賑はしき**なり**。

Q65.

物のあはれを知る人**なる**を、世にあらず。

Q66.

月見る人多く**なる**。

Q67.

いみじき才ある人**なる**べし。

Q68.

風さやか**なる**夕暮れ。

Q69.

古き友、なほ生け**るなり**けり。

Q70.

春に**なり**ぬれば、花咲く。

Q71.

心ある人**なる**ぞよかる。

Q72.

月の都の人**なり**けり、と申す。

Q73.

風吹く**なり**けり。

Q74.

物のあはれ知る人**なら**ぬ。

Q75.

月明らか**なら**む。

Q76.

君や心ある人**なる**らむ。

Q77.

風吹くと聞こゆ**なり**。

Q78.

古典の道、深き**なり**けり。

Q79.

月の都の人**なる**を、世の人は知らず。

Q80.

古典塾の生徒**なれ**ば、なほ古典を学ぶ。

【第4部】入試レベル

Q81.

男ありけり。その男、身を要なきものに思ひなして、京にはあらじ、東の方に住むべき国求めにとて行きけり。もとより友とする人、一人二人してい行きけり。道知れる人もなくて、まどひ行きけり。三河の国、八橋といふ所にいたりぬ。そこを八橋といひける**なり**。

Q82.

行く川のながれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。

Q83.

春は名のみの風の寒さや。谷の鶯歌は思へど、時にあら**ざるなれ**ばこそ、声を立て**ね**。

Q84.

唐土に渡り**たり**ける人**なり**。

Q85.

月明らか**なる**夜なる**を**、雲なくしてさやけし。

Q86.

我れ古典の才ある者**なれ**ど、いまだ才に達せず。

Q87.

月の都の人**なり**けりと申す。

Q88.

嵐山の紅葉、見る人多く**なり**ぬ。

Q89.

帝、御殿の内に**おはすなり**。

Q90.

風吹くと聞きつ**なり**。

Q91.

月の都に住む人**なり**けり、と聞く。

Q92.

雪降る**なり**けり。

Q93.

古典の文を解する人**なり**しを、いま忘れぬ。

Q94.

物のあはれを知る人**なら**ば、これを尊しとせむ。

Q95.

風吹く音、いと激し**きなり**。

Q96.

海辺に住む人ら**なり**けり。

Q97.

月清く照る夜**なり**けり。

Q98.

古典の道を究むる人**なる**べし。

Q99.

春に**なら**ば、花咲か**まし**。

Q100.

行く川のながれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。